

令和元年第4回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和元年12月17日～  
議事録（抜粋）

4 共感を得るふるさと納税の検討状況について

○松本議員

4 共感を得るふるさと納税の検討状況についてですが、ふるさと納税については多々意見がありますが、最も大切なのは、本市をふるさととする方々の気持ちに応えられる取り組みになっているのかということです。

昨年より、ふるさと納税の新しい取り組みについて検討されておられますが、どのようなものかお聞かせ下さい。

○村上議長

市長公室長

○山本市長公室長

ふるさと納税に関するご質問にお答えいたします。

現行のふるさと納税の運用につきましては、希望する使い道等の選択肢を設けず、寄付者からの寄付金を、本市の施策推進に活用させていただいております。

今回、新しい取り組みとして検討している内容といたしましては、寄付者のふるさとへの思いを、より市の取り組みに反映することができますよう、寄付者が分野単位で寄付金の使い道を選択していただける仕組み等を検討しております。

現在、企画調整会議等を通じ、この「使途選択制のふるさと納税」につきまして全庁的に議論を進めているところでございます。

使途選択制のふるさと納税を通じまして、さらなる寄付者とのつながり・絆を深めることができますよう、引き続き検討を進めて参ります。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

次にふるさと納税についてですが、検討状況は理解しました。それを踏まえ、なぜ、本市にふるさと納税をするのかという理由、ふるさとのために納税して良かったと思ってもらえることが大切です。言い換えますとふるさと納税に対して共感を得ることが必要となりますが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○村上議長

市長公室長

○山本市長公室長

ふるさと納税についてでございます。

ご自身の寄付について具体的にどのような取り組みに使われたのか、見える形で公表を行うことで、本来のふるさと納税の趣旨でございます「ふるさとへの恩返し、ふるさとへの貢献」を寄付者が実感でき、本市の取り組みに共感をお持ちいただくことに繋がっていくと考えております。

そのため、使途選択制で寄付先を選択して頂く際には、寄付者が具体的にイメージを持てますような情報発信が重要であると考えております。また、実際にどのような形で寄付が使われたのか、寄付者にとってもわかりやすく、ご提示できますよう、シティプロモーションの観点踏まえながら、ホームページ等での公開を検討しております。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

共感やシティプロモーションの観点も踏まえ、是非、より良い使途選択制のふるさと納税を具体化して頂ければと思います。宜しくお願い致します。

(音声データ等より作成)

<その他の質問項目>

- 1 やる気スイッチ等教育施策の実践とリーダーシップについて
- 2 健都における明和池公園の価値向上について
- 3 本市に活力をもたらす中小企業の活性化について
- 5 防災と地域の核となる旧三宅スポーツセンターの空間価値の重要性について
- 6 防災サポーターの取組みと普及について